

HIGIN magazine

肥後銀行の情報マガジン

ご自由にお持ち帰り下さい

2016

特集 地域の強みを生かす

農業×観光×熊本

特集 女性活躍

地域の明るい未来を支える女性の力

うるおいある未来のために。

どんなときも一人ひとりがお客さまと
真摯に向き合い、まごころのこもった対応で
皆さまのよりよい未来を拓いていきます。

お客様第一主義に徹し、
最適の金融サービスを
提供します

創造性に富み、
自由闊達で人間尊重の
企業文化を確立します

企業倫理を遵守し、
豊かな地域社会の実現に
積極的に貢献します

HIGIN Magazine 2016 CONTENTS

- P3 トップメッセージ
- P4 第六次中期経営計画
- P5 熊本地震にあたって

表紙写真

藤崎台のクスノキ 推定樹齢1,000年(熊本市)
熊本の高校球児のメッカである藤崎台県営野
球場にそびえる7本のクスノキ群。
国の天然記念物に指定されたこのクスノキ群
は、明治10年の西南戦争の戦火を免れた巨
木たちです。写真は、その中でもひとときわ大
きい1本です。

- P7 **特集** 地域の強みを生かす

農業×観光×熊本



- P9 お客さまへのご案内
本業を通じて地域を支えたい
ホームページでできること

- P11 **特集** 女性活躍
地域の明るい
未来を支える
女性の力



- P13 CSR
子ども・環境・思いやり

- P15 わたしたちは
九州フィナンシャルグループ
です

- P17 財務ハイライト



～活力に満ちあふれた “ふるさと熊本”の創生のために～

(復興支援方針より)

取締役頭取

甲斐隆博

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

また、このたびの平成28年熊本地震により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

さて、昨年の国内経済は、輸出・生産面で新興国経済の減速の影響がみられたものの、所得・雇用情勢の改善を背景に個人消費は底堅く推移し、設備投資が堅調に推移するなど、緩やかな回復がみられました。

一方、我々を取り巻く金融経済環境は、日本銀行のマイナス金利政策導入やゆうちょ銀行、メガバンクおよび他の地域金融機関等との競合などから厳しさを増しております。

このような環境のもと、当行は昨年10月1日に鹿児島銀行と持株会社「株式会社九州フィナンシャルグループ」を設立いたしました。新しい金融グループは、「お客様にとって九州トップの総合金融グループ」を目指し、第1次中期経営計画に取り組んでおります。

その取り組みのさなか発生した平成28年熊本地震により、当行の地元である熊本地方は大きな被害を受けました。我々地域金融機関の使命は、企業理念に掲げる“豊かな地域社会の実現に積極的に貢献”のもと、地域の創造的復興に向けて安定的な金融サービスを提供していくことであると考えております。

ふるさと熊本が再び豊かさと活力を取り戻し、未来づくりに向け前進できるよう、グループ力を結集し、全力で取り組んでまいります。

今後も倍旧のご支援ご愛顧を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

平成28年9月

第六次中期経営計画

平成27年からの3年間を「第二の創業」と位置づけ、第六次中期経営計画を全員で完遂し、当行だけでなく九州フィナンシャルグループを理念通り、立派な金融機関にしていくという決意をもって取り組んでまいります。

計画期間 平成27年4月1日から平成30年3月31日までの3年間

目指す姿 最良の金融サービスを提供し、お客様から真に愛される銀行

当行が永続的に目指していく姿(あるべき姿)を「企業理念の実現」「環境変化」のアプローチから導き出し、その実現を図るべく、中期経営計画のテーマ、基本戦略、個別戦略を定めています。

テーマ 可能性の追求 ～潤いある未来の創造へ～

金融機関を取り巻く環境が大きく変化する中、さらに経営統合という新たなステージに立つにあたって、今までの考え方・やり方にとらわれず、永続的な成長を目指していくため、「可能性の追求～潤いある未来の創造へ～」をテーマとしました。可能性を追求する分野として、右記の3項目を掲げております。

1 お客様との稠密な取引の
拡大可能性

2 ヒトの成長可能性

3 収益機会の拡大可能性

基本戦略

1. お客様第一主義の実践と管理
2. 経営統合効果の最大化
3. マーケティング戦略
4. マネジメント戦略
5. マンパワー戦略

財務目標 (平成29年度)

コア目標		サブ目標	
業務粗利益	556億円	株主資本ROE	4.0%台
業務純益	159億円	総預金+NCD平残	+2,600億円
単体当期純利益	124億円	総貸出金平残	+2,800億円
自己資本比率	12.5%		
ROA	0.25%		
OHR	70.4%		

熊本地震にあたって

“ふるさと熊本”の創造的復興に向けた肥後銀行の取り組み

平成28年4月14日・16日、最大震度7を記録した「熊本地震」が発生しました。道路や家屋に大規模な被害をもたらし、農業や観光などの地域経済・社会にも甚大な影響を与えています。

当行では“ふるさと熊本”の復旧・復興に向け、5月13日に復興支援方針を制定し、震災復興委員会を設置しました。そして、この方針に基づき、さまざまな創造的復興支援策に取り組んでおります。

熊本地震発生

平成28年5月

平成28年7月

平成28年5月 復興支援方針の制定 震災復興委員会の設置

熊本地震の被害状況に鑑み、当行グループの復旧・復興に対する姿勢を明確にするため、「復興支援方針」を定めるとともに、「震災復興委員会」を設置いたしました。

「活力に満ちあふれた“ふるさと熊本”の創生のために」

復興支援方針

- 熊本の復旧に向けた貢献**
被災されたお客様お一人おひとりの問題・課題の解決に向けて
- 熊本の復興に向けた貢献**
地域の面的な復興や経済・産業の活性化に向けて
- 熊本の未来づくりに向けた貢献**
後世に誇れる「活気と魅力に満ちあふれた“ふるさと熊本”づくり」に向けて

活力に満ちあふれた
“ふるさと熊本”

ふるさと熊本
熊本の未来づくりに
向けた貢献

地域
熊本の復興に
向けた貢献

個々のお客様
熊本の復旧に
向けた貢献

短期

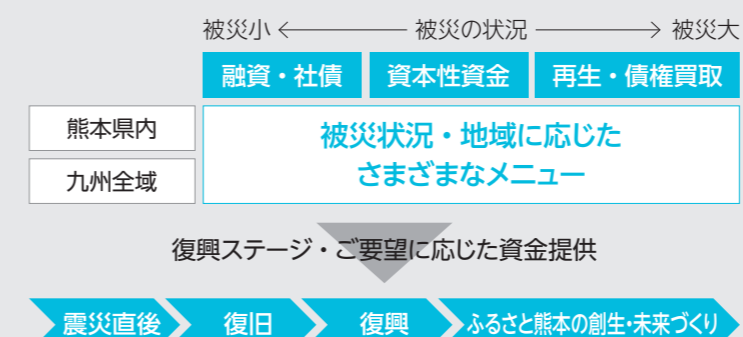
中期

長期

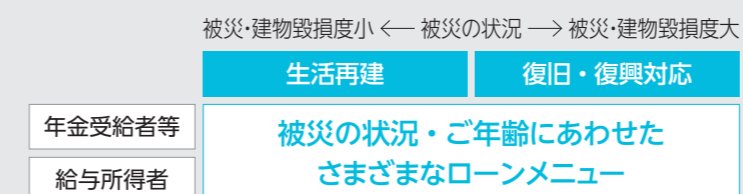
平成28年7月 創造的復興に向けて

活力あふれる“ふるさと熊本”のため、震災復興委員会を中心とした体制づくりを行いました。この体制をもって、「法人」「個人」「地域振興」各分野に向けた取り組みを展開してまいります。

法人分野



個人分野



地域振興分野



具体的な取り組み例

「くまもと復興応援ファンド」
総額100億円

「くまもと未来創生ファンド」
総額50億円

いずれも九州フィナンシャルグループとして鹿児島銀行と共同出資

マンション共有部分専用
リフォームローン

マンション共有部分の修繕資金として管理組合および管理組合法人に対する融資制度。平成28年熊本地震により被災された方には特別金利にて対応

文化財復興に総額19.5億円の寄付

熊本城や阿蘇神社などの熊本の貴重な文化財の復旧・復興に貢献
肥後銀行 15億円
鹿児島銀行 1.5億円
九州フィナンシャルグループ 3億円
(6.5億円ずつ3年間で寄付)

震災復興支援サイト
かせするもん。

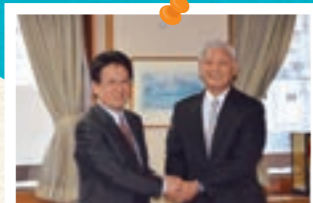
熊本県内の観光情報や特産品のご案内など復興支援関連の情報を全国へ発信



特集 地域の強みを生かす

農業×観光× 熊本

当行の地元である熊本は、人口減少や少子高齢化などのさまざまな課題に直面しております。しかし、農業算出額は全国上位を誇っており、他県からの観光客も年々増加しています。そんな熊本の“いいところ”を全面に生かし、よりよい熊本をつくっていくために当行ではさまざまな取り組みを行っております。



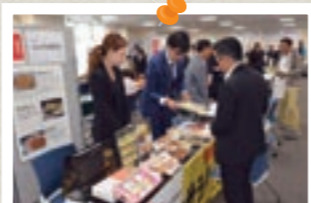
熊本市との地方創生に関する包括的連携協定の締結



次世代ベンチャー発掘・育成連携協定



マレーシア・ジョホール州の視察団招聘

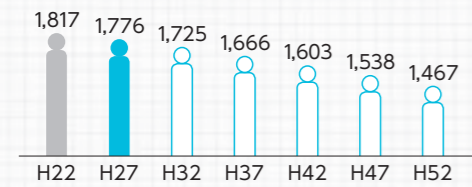


「県南“地産地消”商談会」の開催

熊本の特徴

人口の推移

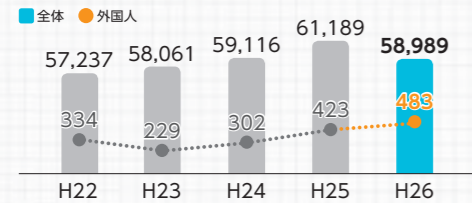
(単位:千人)



参考資料 「日本の地域別将来推計人口」(平成25年3月推計) 総務省統計局「国勢調査報告」

観光客の推移

(単位:千人)



参考資料 平成26年熊本県観光統計表

農業産出額

1位 北海道	11,110億円
2位 鹿児島+熊本	7,546億円
3位 茨城県	4,292億円
4位 鹿児島県	4,263億円
5位 千葉県	4,151億円
6位 宮崎県	3,326億円
7位 熊本県	3,283億円

参考資料 農林水産省統計部「生産農業所得統計」

熊本と鹿児島を足すと...

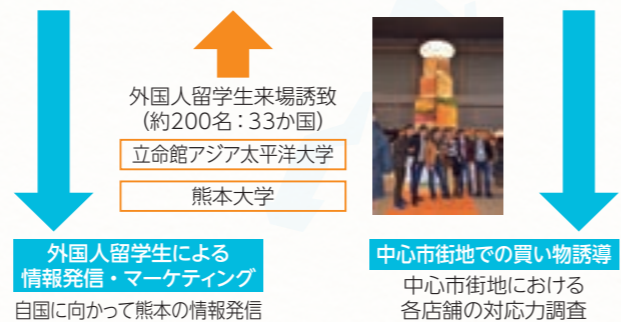
「2016くまもと地域振興フェア」開催

コンセプト『熊本の魅力と可能性を世界へ発信』

平成28年2月9日と10日の2日間、熊本産業文化振興株式会社と共同で「2016くまもと地域振興フェア」を開催いたしました。本フェアは、当行の地域活性化への具体的な取り組みとして開催しました。『熊本の魅力と可能性を世界へ発信』をコンセプトに掲げ、“熊本の地域力”、“熊本の「農」の力”、“熊本の可能性”の3つのゾーンを設けた、新しい趣向のフェアです。

会場：グランメッセ熊本
来場者：約15,000名 (うち外国人留学生約200名)

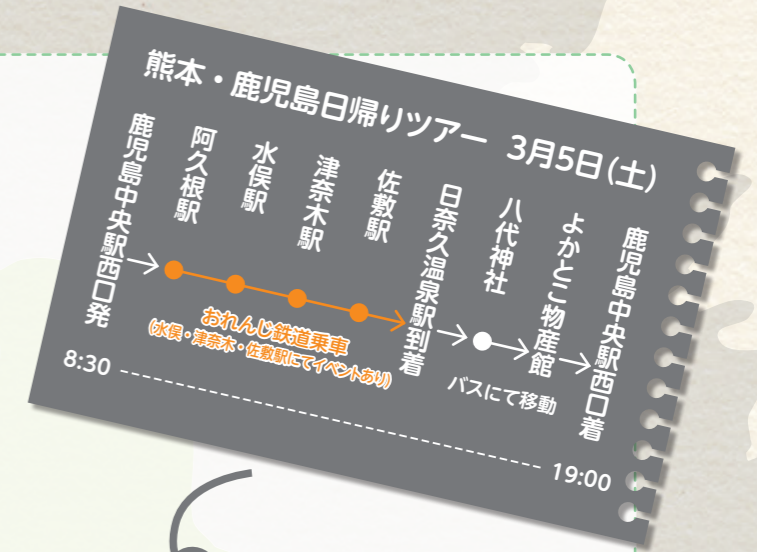
1. 県内各地域の観光資源の紹介
2. 特産品の試食販売
3. 伝統芸能や県内温泉の体験
4. 企業の取り組み・技術・製品の紹介
5. 各種テーマのセミナー開催



九州フィナンシャルグループとしての取り組み

肥薩いいとこどり!皆さまこけおいで

熊本・鹿児島間をつなぐ「肥薩おれんじ鉄道」。当行・鹿児島銀行の沿線自治体等との連携による旅行商品を共同企画し、地元旅行販売会社が販売する「熊本・鹿児島日帰りツアー」を3/5と3/12のそれぞれで実施いたしました。



新ご当地弁当 アイデアコンテスト

ツアーで提供



この日の昼食には、一般販売に先駆けて芦北高校の生徒が考案した「新ご当地弁当」が提供されました。この弁当は平成28年1月に開催された「新ご当地弁当アイデアコンテスト」により考案されたもので、当行とくまもと県南フードバレー推進協議会、熊本県立芦北高校、あしきた農業協同組合、熊本県芦北地域振興局、芦北町とが共催したものです。



外国人の方にも来てほしい!

阿蘇くまもと空港への外貨自動両替機設置

熊本県は空の玄関である「阿蘇くまもと空港」の拠点性向上を図り、地域の活性化に繋げていくため、国際路線の拡充や新規開設に積極的に取り組んでいます。当行では、熊本県の国際化戦略・観光戦略に主体的に協力するべく、年々増加する熊本県を訪れる外国人旅行客のニーズにお応えするため、阿蘇くまもと空港国際線ターミナルでの「外貨自動両替機」による外貨両替サービスを開始いたしました。

取扱通貨	米ドル、ユーロ、韓国ウォン、台湾ドル、香港ドル、中国元、シンガポールドル、タイバーツ、豪ドル (外貨紙幣⇒日本円)
ご利用時間	年中無休 9:00~21:00



法人のお客さまへ

本業を通じて地域を支えたい



まなびや 学び舎応援私募債

■ 地域の未来を担う子どもたちへ

平成28年1月から、「学び舎応援私募債」の取り扱いを開始いたしました。当初は平成28年3月末までの予定でしたが、発行企業からも、学校からも大変好評であり、平成29年3月までの取扱延長を決定しております。

学び舎応援私募債って何？

お取引先の私募債発行を記念して、お取引先がご指定した熊本県内外の学校に対して、当行が教材などの物品を寄贈するものです。お取引先、学校、当行が一体となって、地域活性化の核である教育・子育て支援に貢献いたします。



ひぎん健康企業おうえん融資制度

■ 地域の元気を担う方々へ

平成28年2月から、「ひぎん健康企業おうえん融資制度」の取り扱いを開始いたしました。協会けんぽ熊本支部との業務連携・協力の一環として、社員の健康増進に積極的に取り組んでいるお客さまを対象に、協会けんぽに加入しておりかつ一定の条件を満たしているお客さまに対して金利を優遇する融資制度です。協会けんぽとの連携による融資制度としては九州初となります。

1 熊本県信用保証協会保証付融資制度の金利優遇

ご利用可能な方	「ヘルスター認定証」を保有する協会けんぽ加入のお客さま
優遇対象	熊本県信用保証協会保証付制度融資（一部制度融資を除く）
優遇金利	当行所定の金利から▲0.25%

2 短期お借入金の金利優遇

ご利用可能な方	「ヘルスター認定証」を保有する協会けんぽ加入のお客さまのうち、当行が独自に行う「健康増進への取り組み」評価で、一定の基準を満たすお客さま
優遇対象	手形貸付もしくは融資当座貸越
優遇金利	当行所定の金利から最大▲1.00%

ホームページでできること

当行ではホームページでできるさまざまなサービスをご提供・拡充しております。



- 普通預金口座の新規開設お申込み
- ローンの仮審査お申込み
- WEBカードローンのお申込み
- インターネットバンキングの新規お申込み
- セミナーへの参加お申込み
- 来店のご予約（来店予約サービス）
- 資料請求

普通預金口座の新規開設お申込み

ホームページから普通預金「WEB口座」の新規開設お申込みができます。「WEB口座」は通帳を発行せずに、インターネットバンキングやATMを使ってお取引いただく新しいスタイルの普通預金口座です。

POINT
コンビニATM利用手数料が平日日中0円!
 ※ご利用回数はイーネット及びローソンATM、セブン銀行ATMでのご利用回数の合計となります。
 平日 8:45~18:00/無料 左記以外の曜日時間帯/100円（消費税抜）

来店のご予約（来店予約サービス）

平日の18時まで、土曜・日曜も営業しているフィナンシャルプラザや個人総合コンサルティングプラザへのご来店予約を常時ホームページで受付けております。フィナンシャルプラザ・個人総合コンサルティングプラザでは、資産運用、相続遺言信託、保険・各種ローンなどのお客さまのライフプランのご相談に専門スタッフがお応えいたします。

法人・個人事業主のお客さまの「資金調達に関するご相談」「事業継承に関するご相談」などにつきましても、ご来店のご予約受付を開始いたしました。法人営業の専門スタッフがお待ちしておりますので、ぜひこちらをご利用ください。

待ち時間など気にせず
 ご来店いただけますので、
 ぜひ「来店予約サービス」
 をご利用ください。



詳しくは >> 肥後銀行 検索

地域の明るい未来を支える 女性の力



地域の明るい未来を創るためには、当行の職員一人ひとりの力は欠かせません。当行は平成27年4月に「女性活躍推進室」を新設し、仕事と子育てを両立しながら就業継続し、女性が持てる力を発揮できるようさまざまな取り組みを行っております。今回はその取り組みにスポットを当て、ご紹介します。

女性活躍推進法にかかる取り組み

「一般事業主行動計画」の策定

平成28年4月、女性が職業生活において十分に能力を発揮し、活躍できる環境を整備するため、「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）」が施行されました。当行は長年にわたり、女性の能力開発や意識向上に向けた取り組みを実施してまいりました。このたび、女性活躍推進法に伴う行動計画を下記のとおり策定し、これまで以上に女性が働く環境整備を進めるとともに、幅広い業務分野での能力開発の機会をより積極的に提供してまいります。

株式会社肥後銀行 行動計画

女性が就業継続し、多様な業務にチャレンジ、活躍できる雇用環境の整備を行うため、次のように行動計画を策定する。

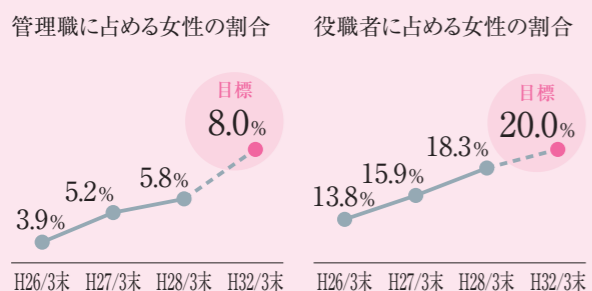
1. 計画期間

平成28年4月1日～平成32年3月31日（4年間）

2. 当行の課題

課題1：管理職に占める女性割合の向上
課題2：ダイバーシティ推進による生産性向上

3. 定量的目標



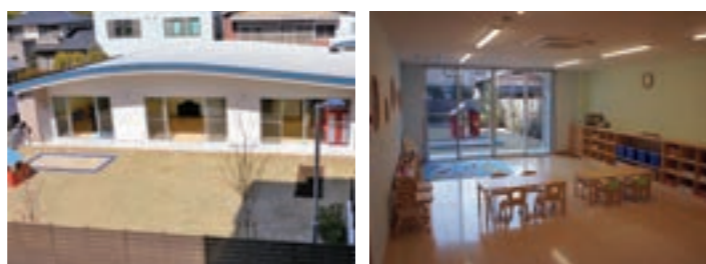
4. 取組内容

- 上位職や幅広い職務へチャレンジできる環境整備
- 全行的なダイバーシティマネジメントの意識向上
- 仕事と家庭の両立に向け、ライフステージに応じた働きやすい環境整備

「ひごっ子の森保育園」の開設

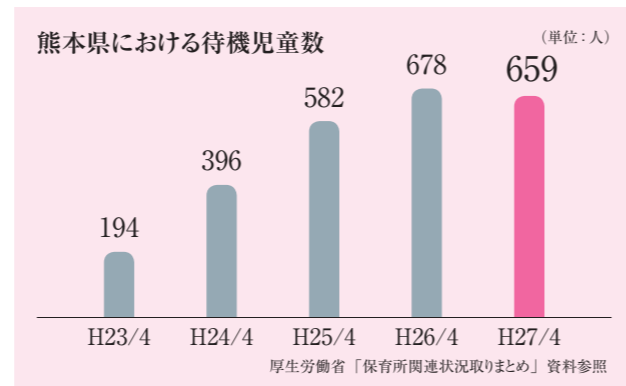
はたらく女性と次世代の子どもたちのために

全国では待機児童の問題が深刻であり、熊本県も例外ではありません。平成27年4月より当行では、女性が仕事と家庭を両立し安心して働き続けられるための環境整備のひとつの施策として、事業所内保育施設「ひごっ子の森保育園」を開設いたしました。当行および関連会社従業員の子育て世代が、育児をしながら安心して働くことのできる環境を提供し、女性の活躍を支援してまいります。なお、事業所内保育施設の設置は県内金融機関では初めての取り組みとなります。



広々とした園庭

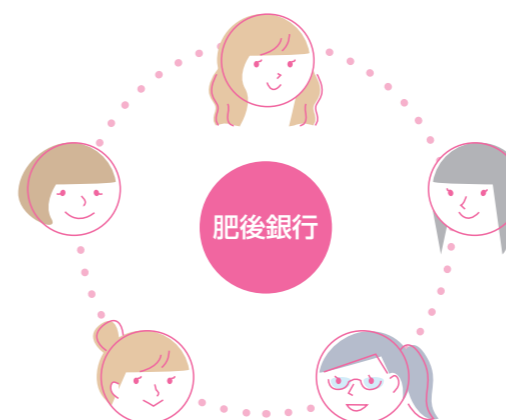
明るく、開放的な園舎



女性活躍推進を地域全体へ

業種・業界・地域を越えて

平成28年1月、県内企業団体に勤務する女性を対象とした「リーダー養成のための異業種交流会」を実施いたしました。業種や業界を越えて、さまざまな視点から意見交換等を行うことにより、キャリア形成や熊本で働く女性のネットワーク拡大を図るとともに、地域全体で女性活躍推進を進めていくことを目的として開催したものです。



【ご参考】参加企業・団体

熊本県庁、(株)鶴屋百貨店、東京海上日動火災保険(株)、日本政策金融公庫熊本支店、平田機工(株)、(株)肥後銀行（主催）

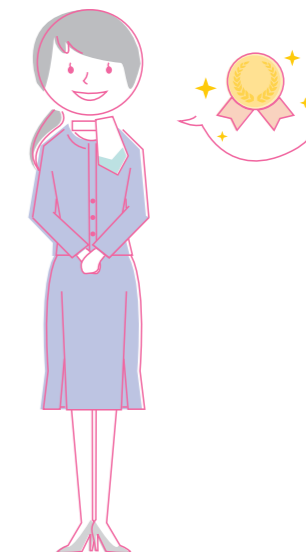
外部機関からの表彰

わたしたちの取り組みが認められました

「ひごっ子の森保育園」など、女性が活躍するためのさまざまな取り組みが認められ、平成27年11月には熊本県より「平成27年度熊本県男女共同参画推進事業者表彰」の受賞、平成28年3月には熊本市より「平成27年度熊本市子育て支援優良企業」に認定され、特に優れた取組企業として表彰されました。今後も、女性が仕事と家庭を両立し、安心して働き続けられるよう、これまで以上に環境整備を進めるとともに、幅広い業務分野にチャレンジする機会をより積極的に提供することで、女性の能力開発とキャリア形成支援を行ってまいります。



平成27年度熊本県男女共同参画推進事業者表彰 平成27年度熊本市子育て支援優良企業認定・受賞



地域の明るい未来を支えたい

私たちの大切な地域“熊本”の明るい未来を創るためには、未来を担う「子ども」、地域そのものの「環境」、そして私たちの「思いやり」が土台になり、支えていくものと考えています。



熊本の未来を担う子ども達のために

当行は、金融リテラシー向上支援の一環として、平成27年より人型ロボット「パルロ」を活用した金融教育に取り組んでいます。夏休みや冬休みに本店ビルで開催する「お金の教室」の他、学校や地域行事への出張教室も20回を超えました。「パルロ」との双方向コミュニケーションを通じて、金融について楽しく学んでもらう機会を提供しています。



僕と一緒に
お金のことを
勉強しよう!

人型ロボット「パルロ」

熊本の水とみどりを守るために

熊本は「水の国」と呼ばれており、熊本都市圏約100万人の生活用水をすべて地下水でまかなっています。そんな豊かな熊本の自然の恵みを次世代へとつなぐため、当行ではさまざまな取り組みを行っております。

阿蘇水掛の
棚田



5月の田植えの様子

「阿蘇水掛の棚田」と命名した棚田において、例年当行グループ役員による田植え、稲刈りを実施し、地下水保全のため、水田の維持に努めています。



10月の稲刈りの様子



「肥後の水とみどりの愛護賞」表彰式
平成27年度までに、延べ303団体・15個人の皆さまを表彰しました。



「わたしのまちの〇と×・熊本」環境フォトコンテスト
環境啓発のコンテストとして、平成19年から多くの気づきを発信しています。



阿蘇大観の森

4月の植樹の様子

阿蘇外輪山の52haの森林「阿蘇大観の森」で水源涵養林の保全・育成に取り組んでいます。

子ども環境

思いやり



夏休み

冬休み

出張

● 日本の小学生向けの取り組み

パルロと一緒に楽しく学ぶ「お金の教室」

- 「パルロ」の自己紹介、機能（顔認証、歌、踊り等）紹介
- 「パルロ」と楽しく学ぶ、お金に関する〇×クイズ
- 1億円の重さを体験しよう!!
- 講義「お金のひみつ」

✿ 香港の日本人学校向けの取り組み

パルロと学ぶ「金融教育」

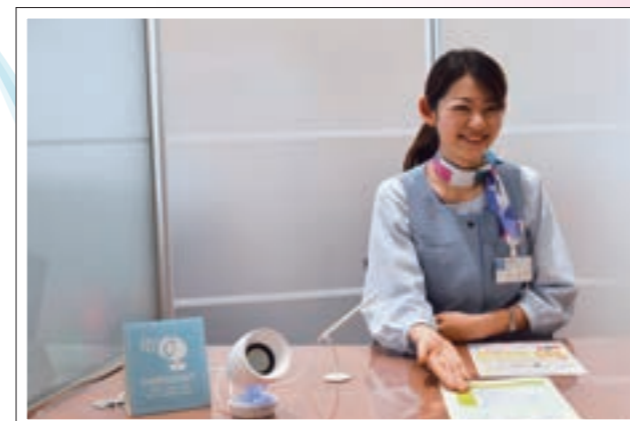
- 「パルロ」と学ぶ、経済に関する〇×クイズ（日本と香港の銀行の違い、円安円高、くまモンの経済効果など）
- 講義「金融機関の果たす役割」「AI（人工知能）と金融」「銀行あるある」
- 実技「コミュニケーションロボットの体感」「札勘定」

高齢・障がいをお持ちの皆さまのために

卓上型対話支援機器（コムーン）の全店導入

平成28年4月に施行された「障害者差別解消法」は障がいを持つ人に対する差別や制限を禁止し、平等な機会を確保するため、障がいの状態を考慮したサービスの提供を民間企業の努力義務としています。

当行はお客様サービス向上のため、窓口担当者の声をより明瞭にしてお客様の聴こえをよくする「卓上型対話支援機器（コムーン）」を全店に設置いたしました。大きな声を出さなくてもスムーズに会話ができるため、プライバシーの保護にも役立っています。



九州の
地方銀行初



九州とともに、豊かな未来へ

わたしたちは九州フィナンシャルグループです

株式会社肥後銀行と株式会社鹿児島銀行は、共同株式移転により平成27年10月1日に持株会社「株式会社九州フィナンシャルグループ」を設立いたしました。

グループ経営理念

わたしたち九州フィナンシャルグループは、持続可能な成長の実現に向け、以下の3つの理念を柱として、みなさまから真に愛される総合金融グループを目指します。

- 1 お客様の信頼と期待に応え、最適かつ最良の総合金融サービスを提供します。
- 2 地域とともに成長し、活力あふれる地域社会の実現に積極的に貢献します。
- 3 豊かな創造性と自由闊達な組織風土を育み、より良い未来へ向かって挑戦し続けます。

目指す姿 お客様にとって九州トップの総合金融グループ

「協働」▶「融合」2つのステージで実現

1. 協働ステージ 第1次中計 (平成27年10月～平成30年3月)

- 相互理解を深め、有効性を導入し合う。
- 融合ステージにおける統合効果の最大限発揮に向け、強み(ノウハウ)を結集して、グループ総合金融力を高める。
- グループガバナンスの高度化を進め、グループ経営資源を最適に配分する仕組みを構築する。

2. 融合ステージ 第2次中計以降 (平成30年4月～)

- グループ全体の融合を段階的に進め、経営基盤をより強固なものにする。
- グループの連結粗利益と経費効率の両面から、統合効果を最大限に発揮し、持続的成長につなげる。

第1次中期経営計画

基本方針 お客様への最適かつ最良のサービス提供に向けた経営基盤構築

経営基盤

お客様の多様なニーズに応える

「総合金融力」

- 金融ニーズに迅速かつ的確に応える金融事業領域・商品・サービス
- 地域の持続的成長を実現する地方創生戦略
- グループ収益を支える安定した市場運用収益

ステークホルダーに信頼される

「ブランド力」

- **地域・お客様**
常に選ばれ続ける高い信頼性(人間力・商品力)
- **株主**
安定的な株主還元と積極的なIR活動
- **従業員**
グループの一員であるという誇りと高いモチベーション

グループ全体最適を実現する

「組織運営力」

- 環境変化に適応したグループ経営基盤の強化
- 高度なグループ経営管理態勢の整備
- 総合金融力構築を支える経営・業務の効率化と戦略的人員配置

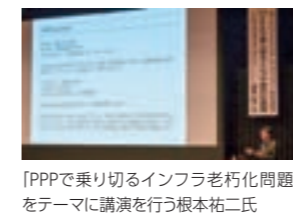
■ 協働ステージでの取り組み

統合記念キャンペーン

九州フィナンシャルグループ誕生を記念し、また、熊本・鹿児島両県民の交流を願い、個人のお客様を対象とした円貨個人定期預金の金利上乗せキャンペーンを実施しました。(平成27年10月1日から12月30日まで)



PPP/PFIプラットフォーム設立



地元自治体の公共施設老朽化問題等に積極的に取り組むべく、PPP/PFIの普及・促進を目的としたプラットフォームを設立し、設立記念講演会を開催しました。

肥後銀行⇔鹿児島銀行間の振込手数料改定

肥後銀行から鹿児島銀行宛の振込手数料が肥後銀行本支店宛と同額に、鹿児島銀行から肥後銀行宛の振込手数料が鹿児島銀行本支店宛と同額になりました。
※手数料の詳細については、ホームページまたは店頭でご確認ください。

熊本・鹿児島日帰りツアー

平成28年3月、地方創生への取り組みの一環として、自治体等と連携し、熊本・鹿児島間をつなぐ「肥薩おれんじ鉄道」を利用した日帰りツアーを実施しました。



出発する「肥薩おれんじ鉄道」を見送る地域の人々



販売開始後約10分で完売!

KFG地域企業応援ファンド

地場(熊本、鹿児島、宮崎)に本店または拠点有する企業様に対し、事業基盤の再生、強化、拡大、成長ならびに、第二創業等のあらゆる事業ステージにおいて支援することを目的に、肥後銀行および鹿児島銀行、株式会社Kizunaキャピタルの共同で「KFG地域企業応援ファンド」を設立しました。



日本なまず生産株式会社様(第1号案件)が開発した「うなぎ味のナマス」

人材交流

人材育成の強化と相互理解促進、グループ一体感の醸成のため、それぞれの地域行事への参加や共同研修の開催などの人材交流を積極的に行っています。平成28年3月には両行の行員が相手行に出向し、人事異動を伴う人材交流も実施しました。

また、平成28年4月に発生した熊本県熊本地方を震源とする地震により被災されたお客様の被害状況等の把握のため、鹿児島銀行から30名の行員を肥後銀行へ派遣しました。



鹿児島「おはら祭り」(平成27年11月)肥後銀行の新入行員24名が参加



入行7年目の女性行員を対象にした「キャリアアップ研修」に各行約20名ずつが参加



被災された肥後銀行のお取引先を訪問する鹿児島銀行の行員

プロフィール (平成28年3月末現在)



九州フィナンシャルグループ

本店所在地(登記上の住所) 鹿児島市金生町6番6号
本社所在地(本社機能) 熊本市中央区練兵町1番地
代表者 代表取締役会長 甲斐 隆博(肥後銀行 取締役頭取)
代表取締役社長 上村 基宏(鹿児島銀行 取締役頭取)

資本金 360億円
設立日 平成27年10月1日
上場証券取引所 東京証券取引所市場第一部
福岡証券取引所本則市場
証券コード 7180



創立 大正14年7月25日
資本金 181億2800万円
本店所在地 熊本市中央区練兵町1番地
店舗数 123か店(本支店 113・出張所 4・海外駐在員事務所 1)
従業員 2,233人



創立 明治12年10月6日
資本金 181億3000万円
本店所在地 鹿児島市金生町6番6号
店舗数 152か店(本支店 113・出張所 11・代理店 27・海外駐在員事務所 1)
従業員 2,257人



財務ハイライト (平成28年3月期)

営業の概況

九州フィナンシャルグループ (KFG) 連結 (単位: 百万円)

科目	平成28年3月期
経常収益	131,224
経常利益	25,606
親会社株主に帰属する当期純利益	108,471
自己資本比率	12.86%

POINT

平成28年3月期の業績につきましては、経常収益は1,312億24百万円、経常利益は256億6百万円となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、経営統合による初年度特殊要因として、「負ののれん発生益」884億87百万円を特別利益に計上したことにより、1,084億71百万円となりました。

肥後銀行・鹿児島銀行 (2行単体合算) (単位: 百万円)

科目	平成28年3月期	前期比	平成27年3月期
経常収益	147,687	11,539	136,147
業務粗利益	109,342	△207	109,550
うち資金利益	93,457	1,284	92,172
経費 (除く臨時処理分)	75,529	994	74,534
コア業務純益	31,803	△959	32,763
業務純益	36,476	3,279	33,196
経常利益	39,285	648	38,637
当期純利益	25,525	2,219	23,305

POINT

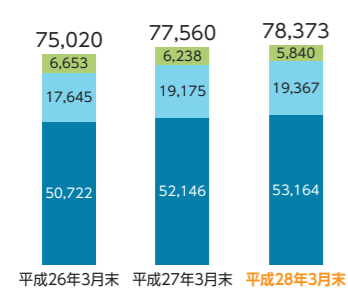
業務粗利益につきましては、資金利益は増加したものの、その他業務利益が減少したことなどから前期比2億7百万円減少しました。業務純益は、一般貸倒引当金が戻入となったことなどから前期比32億79百万円増加しました。経常利益は、不良債権処理額の増加等により前期比6億48百万円の増加にとどまりましたが、法人税率の引下げ等により税金費用が減少したことから、当期純利益は前期比22億19百万円増加しております。

科目	平成28年3月期	前期比	平成27年3月期
総預金残高	78,373	812	77,560
貸出金残高	56,953	3,237	53,715
預り資産残高	10,381	297	10,083

(注) 総預金は、預金と譲渡性預金の合算であります。

総預金の状況 (2行単体合算)

■ 個人預金 ■ 法人預金 ■ 公金預金他 (単位: 億円)

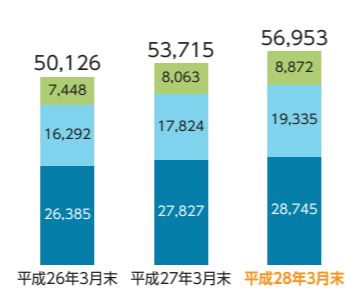


POINT

両行とも、個人預金を中心に順調に増加しており、2行合算で、前期末比812億円増加の7兆8,373億円となりました。

貸出金の状況 (2行単体合算)

■ 法人向 ■ 個人向 ■ 公共向 (単位: 億円)

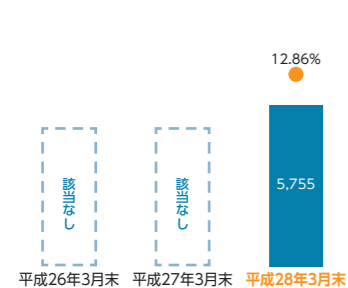


POINT

肥後銀行では、法人向けと公共向け貸出を中心に、鹿児島銀行では個人向け貸出を中心にとも増加しております。この結果、2行合算で、前期末比3,237億円増加し、5兆6,953億円となりました。

自己資本比率の状況 (KFG連結)

■ コア資本 ■ 自己資本比率 (単位: 億円)

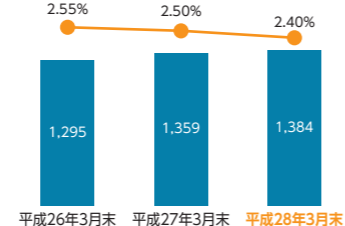


POINT

連結ベースの自己資本比率は、経営統合における会計上、鹿児島銀行の有価証券評価差額金等が負ののれん発生益として自己資本に取り込まれたため両行の自己資本比率より上昇しております。

金融再生法開示債権の状況 (2行単体合算)

■ 不良債権額 ■ 不良債権比率 (単位: 億円)



POINT

金融再生法開示債権の残高は、肥後銀行で564億円、鹿児島銀行で819億円、2行合算で1,384億円となりました。金融再生法開示債権の総与信に占める割合、いわゆる不良債権比率は、2行合算で2.40%となりました。

※肥後銀行は平成28年3月末より部分直接償却は実施しておりません。また、鹿児島銀行は部分直接償却は実施しておりません。

財務ハイライト (平成28年3月期 単体)

	肥後銀行	鹿児島銀行
総預金残高 (譲渡性預金を含む)	42,566億円	35,806億円
貸出金残高	28,309億円	28,643億円
コア業務純益 ^{※1}	139億円	178億円
業務純益	155億円	208億円
経常利益	214億円	178億円
当期純利益	139億円	115億円
ROE ^{※2}	4.66%	3.82%
株主資本ROE ^{※3}	5.67%	4.79%
自己資本比率	12.10%	11.54%
不良債権比率	1.98%	2.83%
格付 (平成28年3月31日現在)	スタンダード&プアーズ・レーティング・ジャパン株式会社 【長期格付】 A 株格付投資情報センター (R&I) 【長期格付】 A+ ムーディーズ・ジャパン株式会社 【長期格付】 A1	スタンダード&プアーズ・レーティング・ジャパン株式会社 【長期格付】 A 株格付投資情報センター (R&I) 【長期格付】 A+

※1 コア業務純益 = 業務純益 + 一般貸倒引当金繰入 - 国債等債券関係損益

※2 当期純利益 / 純資産

※3 当期純利益 / 株主資本

Let's cook!

じもとの味自慢!

熊本県・鹿児島県には大自然の恩恵を受けたおいしい食材がいっぱい。両行地元の郷土料理レシピをご紹介します!

定番馬刺しをアレンジ。ひと手間くわえてユッケ風に!

お茶請けや酒の肴、子供のおやつにも!

材料

- 馬刺し 70g
- 醤油 小さじ2
- 白すりごま 小さじ1
- ごま油 小さじ2
- 砂糖 小さじ1/2
- 塩 少々
- 卵 黄身 1個分

“お好みで”

- コチュジャン 適量
- んにく 適量



熊本郷土料理 馬刺し (写真はユッケ風)

作り方

1. 馬刺しを、3~5mm程度角の細切りにする。
2. 調味料をボウルに入れて混ぜ、1を入れてさらに1~2分ほどよく混ぜる。
3. お皿に盛って卵の黄身を真ん中に落とす。

馬肉は農林水産省選定「農山漁村の郷土料理百選」で選ばれた熊本県の郷土料理です。

別名、「桜肉」とも呼ばれており、ハラミ、フタエゴ、赤身など部位によって味も見た目も大きく異なります。食べ方は、定番の馬刺しをはじめ焼肉や燻製、しゃぶしゃぶなど様々です。

材料

- ざつまいも 1本
- にんじん 1/2本
- にら 4~5本
- 衣
- 小麦粉 100g
- もち粉 50g
- 卵 1個
- 砂糖 30g
- 水 80cc
- 薄口醤油 大さじ1
- 塩 少々
- 揚げ油 適量



鹿児島郷土料理 かね

作り方

1. ざつまいもとにんじんは長さ5cm程度のための千切りにし、にらは5cmの長さに切る。
2. 衣をすべて合わせて1とあえる。
3. 2を食べやすい大きさにまとめて170度の油で揚げる。

鹿児島の郷土料理の代表格で、その姿が「カニ(鹿児島弁で“ガネ”)」に似ていることからこのような呼び名となっています。

地域や家庭によって材料や味が異なりますが、共通点は「ざつまいもを使用し、天ぷらのように揚げたもの」です。



Kyushu FG

九州フィナンシャルグループ



HigoBank

うるおいある未来のために。
肥後銀行



南の風をわが手に
鹿児島銀行

九州フィナンシャルグループのシンボルマークについて

■ コンセプト

自然豊かな九州の大地に根ざし、成長し続ける大樹。

わたしたち九州フィナンシャルグループも、しっかりと地域に根ざし、地域とともに成長しながら、社会に豊かな実りをもたらす大樹のような存在でありたいという願いが込められています。

■ デザイン

木洩れ日は、将来を優しく照らし出す光を表します。

みずみずしい豊かな九州の未来を、まさに水滴を思わせる立体的な造形によって印象深く表現しています。

■ カラー

これまで築き上げてきた信頼を表す深みのある“トラストグリーン”と、なにごとにも挑戦し続ける若々しいマインドを表す“フレッシュグリーン”を基調としています。



Kyushu FG